



## 1. マーケット・レート

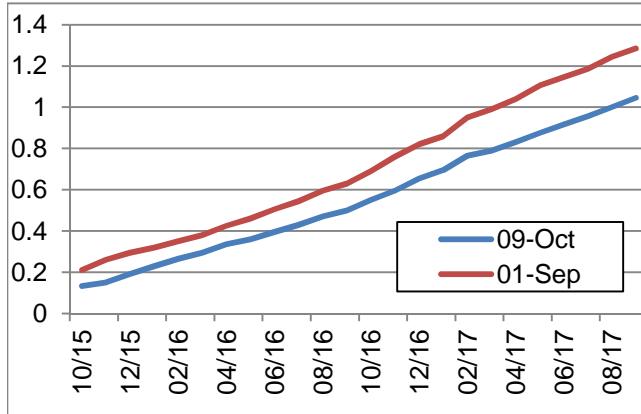
			10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	10月9日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.9110	3.8520	3.8860	3.7850	3.7630	-0.0220
	BRL/JPY	Spot	30.80	31.20	30.88	31.68	31.97	+0.29
	EUR/USD	Spot	1.1189	1.1274	1.1237	1.1276	1.1358	+0.0082
	USD/JPY	Spot	120.43	120.22	120.01	119.92	120.27	+0.35
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	14.98 15.38	14.83 15.24	14.80 15.39	14.78 15.19	14.86 15.45	+0.0784 +0.2611
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	3.007 4.015	2.976 4.136	3.152 4.397	3.055 4.258	2.994 4.214	-0.061 -0.044
株式	Bovespa指数		47,598.07	47,735.11	48,914.32	49,106.56	49,338.41	+231.85
CDS	CDS Brazil 5y		410.64	409.34	449.48	422.57	417.03	-5.54
商品	CRB指数		196.382	200.134	199.595	201.303	202.689	+1.386

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。

## 2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは3.9360で寄り付いた。レヴィ伯財務相が金利が下がるのは財政問題が解決し経済が反転した後との認識を示すと、政府による経済刺激策が当面期待できないとの失望感からレアルは週間安値となる3.9510をつけた。しかし、先週末に発表された米雇用統計が市場予想を大幅に下回ったことを受けて、FRBの早期利上げ期待が剥落し、世界的に資源国通貨、高金利通貨が堅調に推移した。ムーディーズがブラジルに対してポジティブな見解を示したこともあり、レアルも3.8台前半まで上昇した。
- 伯仲銀公表のアナリスト予想集計では、2015年のGDP成長率予想が-2.80%から-2.85%へ12週連続で下方修正された。インフレ予想は2015年が9.46%から9.53%へ3週連続の上方修正。2016年は5.87%から5.94%へ9週連続の上方修正となった。2015年末の為替レート予想では3.95から4.00と5週連続でレアル安方向の修正となった。
- 週央からは、ルセフ大統領が拒否権を発動するために必要な定数を議会で確保できず、法務関係者の賃上げ法案など財政収支を悪化させる方向の法案を拒否できなかつたため、格下げ懸念からレアルは3.90近辺まで反落した。しかし、公表されたFOMC議事録で、前回利上げをしなかつた理由として中国発の世界的なリスクの高まりが挙げられたことを受けて、FRBの年内利上げに対する疑惑が高まり、新興国通貨が続伸した。レアルは3.7台まで上昇した。また、OPECの声明で今年の原油需要が従前の予想よりも強く見込まれたことを受けて、WTI先物の直近限月は7月以降初めて50ドルを回復した。
- 週末にかけては材料難の中、リスクオンムードが継続しレアルは週間高値となる3.7250を示現した。結局3.7630で越週。

## 3.今週のチャート&amp;ハイライト



出所:Bloomberg

## FOMC議事録を受けて年内利上げ期待が後退

米雇用統計の非農業部門雇用者数が2ヶ月連続で20万人を下回ったことに加え、今週発表されたFOMC議事録においては10月利上げ見送りの原因として情勢の悪化が挙げられたことを受けて、市場参加者はFRBが何を持って利上げの判断とするのかが見えなくなった。金利先物市場が年内利上げを織り込む度合いは50%を割り込み、むしろ少数派となつた。これを受けて利上げに伴い新興国通貨からドルへ資金が流入することを見込んで売られていた新興国通貨が買い戻される流れになっている。レアルは1ヶ月ぶりのレアル高水準まで戻している。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しております。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



## 4.来週の為替市場注目点

### 予想ドル・レアル相場レンジ：3.65—4.00

今週はFOMC議事録公表を受けてFRBの年内利上げ期待が剥落したことに伴い、新興国通貨の買戻しが見られた。リスクオンの流れで株式も全面高となり、商品市況も堅調となった。レアルは9月初旬以来となる3.72台まで上昇し、ボベスパ指数も9日続伸。ボベスパは9月の高値を上抜けて大台の50000を伺う動きとなっている。

一方、ブラジルの状況は更に悪化しており、インフレ率も再び上昇し始めた。政局の混乱も收まらず大統領罷免のリスクが高まっている。今週はTCUが2014年の政府会計に多くの虚偽が存在すると指摘し、審議官全員が却下に投票した。この会計操作は予算法と財政責任法に違反すると指摘され、責任が大統領に帰属すると判断されればルセフ大統領罷免の可能性もある。また大統領が拒否権行使するために必要な定数を確保出来なくなつて来ていることから、財政を悪化させる方向の法案を拒否できない状況になって来ている。追加格下げのリスクも高まっていると言える。

今週は月曜日が日米伯の祝日で短い週となる。米国の小売売り上げ等の重要指標はあるが、潮目が変わりそうなイベントは想定されていない。暫くは米利上げ期待の剥落を材料としたドル売りでレアルは上値を探る展開となろうが、一巡後はブラジルの悪材料が最注目されて反落するだろう。レアル上値の目処は安値からの23.6%戻しの3.6060近辺と予想する。反落すれば再び4.0に向かってレアルが売られるだろう。

## 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE CPI-週次	0.70%	0.79%	0.57%
ブラジル	IGP-M Inflation 1st Preview	1.0%	1.6%	0.6%
米	輸入物価指数(前月比)	-0.5%	-0.1%	-1.6%
米	卸売在庫(前月比)	0.00%	0.10%	-0.30%

## 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	10/13	貿易収支(週次)	Oct-11	--	--
米	10/13	月次財政収支	Sep	\$95.0b	\$105.8b
ブラジル	10/14	小売売上高(前年比)	Aug	-5.7%	-3.5%
ブラジル	10/14	広義小売売上高(前年比)	Aug	-8.9%	-6.8%
ブラジル	10/14	登録雇用創出合計	Sep	-67000	-86543
米	10/14	小売売上高速報(前月比)	Sep	0.1%	0.2%
米	10/14	PPI 最終需要(前月比)	Sep	-0.2%	0.0%
ブラジル	10/15	税収	Sep	--	93738m
ブラジル	10/15	経済活動(前月比)	Aug	-0.60%	-0.02%
米	10/15	新規失業保険申請件数	Oct-08	269k	263k
米	10/15	ニューヨーク連銀製造業景気指数	Oct	-7.5	-14.67
米	10/15	消費者物価指数(前月比)	Sep	-0.20%	-0.10%
ブラジル	10/16	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Oct	1.75%	0.61%
ブラジル	10/16	FGV CPI IPC-S	Oct-15	0.71%	0.63%
米	10/16	鉱工業生産(前月比)	Sep	-0.3%	-0.4%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しております。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。